

“九州初の脳卒中後遺障特化” 脳梗塞リハビリステーション福岡を運営する スターパートナーズら3社がタイ・バンコクでリハビリテーション事業に進出

株式会社スターパートナーズ(日本・当社)、アジア・アグリケア・サポート株式会社(日本)、ローカルパートナーの3社は、タイ・バンコク県において現地法人Japan Care and Medical co.,Ltdを設立し、2019年1月より「脳梗塞・認知症リハビリテーションBANGKOK」をバンコクにて開業いたします。

「脳梗塞・認知症リハビリテーションBANGKOK」は、脳卒中発症後、時間が経ってしまった麻痺のリハビリや、科学的根拠に基づいた非薬物的な認知症への改善アプローチを、日本での実証に基づいて提供する施設です。現地医療機関であるSERENE HOSPITAL(代表:Dr. Renu Ubol(レヌー・ウボン医師))と連携します。2019年1月7日に同病院にて開業式をおこないます。

高齢者人口約950万人のタイ国で最も多い疾患として脳卒中・認知症が知られています。回復期・慢性期入院医療のない同国では、すでに一部の高所得者層は自費による訪問・通い等リハビリテーションを利用しています。今後中所得者層においても当該領域・分野は普及すると考え、日本式リハビリテーションの認知度向上につながることを期待しています。

【脳梗塞・認知症リハビリステーションBANGKOK開業式・開催概要】

- ・日時:2019年1月7日14:00～15:00
- ・場所:SERENE HOSPITAL内(Soi Krungthep Kritha 8,Yeak 18,Hua Mak, Bang Kapi, Bangkok 10240)

【新会社の概要】

- ・新会社名称:Japan Care and Medical co.,Ltd(タイ国)、通称:JPCM
- ・設立者・共同代表:齋藤直路、岩本昌樹、飯田光孝
- ・連携:SERENE HOSPITAL 代表:Dr. Renu Ubol・・・バンコク病院日本人クリニック医長 兼 副医局長、H27春の外国人叙勲受章、京都大学医学研究科博士号

【設立者概要】

- ①  株式会社スターパートナーズ (代表取締役 齋藤直路、本事業の共同代表)
本社:東京都品川区上大崎2-15-19 MG目黒駅前4階
福岡支社/脳梗塞リハビリステーション福岡:福岡県福岡市中央区天神3丁目3-7 天神応順ビル7階
事業概要:介護医療福祉経営コンサルティング、脳梗塞リハビリ事業(福岡・山口)、セミナー等講師、執筆等
- ② アジアン・アグリケア・サポート株式会社(代表取締役 岩本 昌樹、本事業の共同代表)
本社:山口県周南市大字久米3202番地の15
事業概要:人材教育等。老人ホーム、デイ等を運営する  社会福祉法人くだまつ平成会と連携
- ※上記に加え、現地のローカルパートナー、弁護士等の専門家がアドバイザーボードのメンバーです
<特別顧問>飯田 光孝 氏・・・東京大学卒(工学部)、タイ王国国立チュラロンコン大学大学院 首席入学、
米国公認会計士(2004年2月 米国デラウェア州にて取得)、経営学修士

<本件に関するお問い合わせ:株式会社スターパートナーズ>

電話:0120-99-4306 / メール:info@care-sp.net